



もちろん3人は写真部です。
同じ高校を卒業して写専に入学して、
卒業後も同じ自衛官の道を進む。
先輩の後ろを狙って進みますよ(笑)
自衛隊でも写真が撮れるセクションの配属です。
「ええ写真やなあー」って褒められることを目標に。

木村 裕太 × 山下 湧平 × 楠本 正道

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.30

UP! SPECIAL
HAPPY is
FAMILY

先輩、僕たちの卒業作品を見てください。
「うん、必ず来るわ」



卒業作品では木村君はお母さんと手を握ったポートレートを発表した。山下君はボクシングに打ち込む若者のポートレート出すという。楠本君は挑戦する高校教師のポートレートを出すという。3人がそれぞれ尊敬する人を真正面から捉えたポートレート。素晴らしい。

「木村先輩(22)が高校を卒業された年に僕たち2人が入学したんです。だから先輩の写真部での活動は実際には見ていないんですが、顧問の先生から先輩の話がよく聞いています。木村先輩はポートレートをよく撮っていたんですよ」「うん。人と関わることが好きで、人を撮りたい気持ちが高まって高校の写真部では人、人、人やったね」「僕も人を撮るのが好きでよく撮るんですが、先輩と違うのは、僕は路上に寝そべっている人ばかりを狙います」(笑)
「そうやなあ。山下君(20)の人物はドキュメンタリーで生命力を感じるよなあ」「ハイ、人の生き方に興味を持っています」「なんや、賢そうやなあ」(爆笑)「そうかなあ、山下は写真部の部室で写真の話を中心と先生のモノマネばかりしてたでえ」と横から楠本君(20)もまた爆笑のウズ。楠本君は「僕は風景写真です。カッコよく言うとネイチャー・フォト」

「カッコ付け過ぎ」(笑)
3人は高校時代の写真部の思い出を大笑いしながら楽しそうに話す。熱い情熱と愛情を注いでくれた部活の顧問と仲間に関われてよほど写真部の活動が楽しかったのだろう。それから写真部に入学。共に営業写真コースを選択。山下君と楠本君は後一ヶ月で卒業する。写真の2年間は「校長先生にいっぱいランチをご馳走になったこと」と山下君(笑)「校長先生と一緒に、学校のガーデンの手入れをしたことが一番印象に残っています」と楠本君。木村君が「校長先生にも、担任の先生にも、そしてクラスメートにも本当に世話になりました。写真時代の一日、一日が大切な思い出です」後輩2人が木村君の顔を真剣に見た。「自衛隊に入ってきたら、人として大きくなって欲しいです。常に感謝の気持ち忘れずに」「ハイ」後輩の2人の顔がきりりと引き締まった。(は)